

中紀ウィンドファーム事業環境影響評価

事後調査（2017年度）

－植物の移植調査 報告書－

平成30年5月

エコ・パワー株式会社

1 作業実施状況

移植の作業工程は表1のとおりである。

表1 作業工程

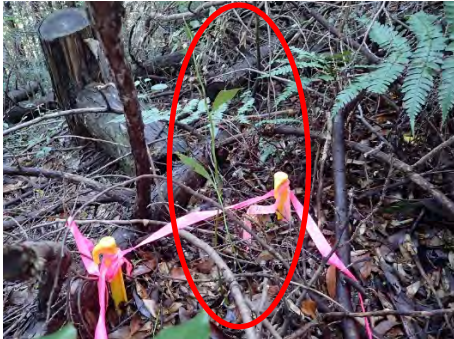
実施日	実施内容
平成29年9月13日	重要な植物の株確認とマーキング作業、移植先選定踏査
平成29年11月28日	重要な植物の移植作業

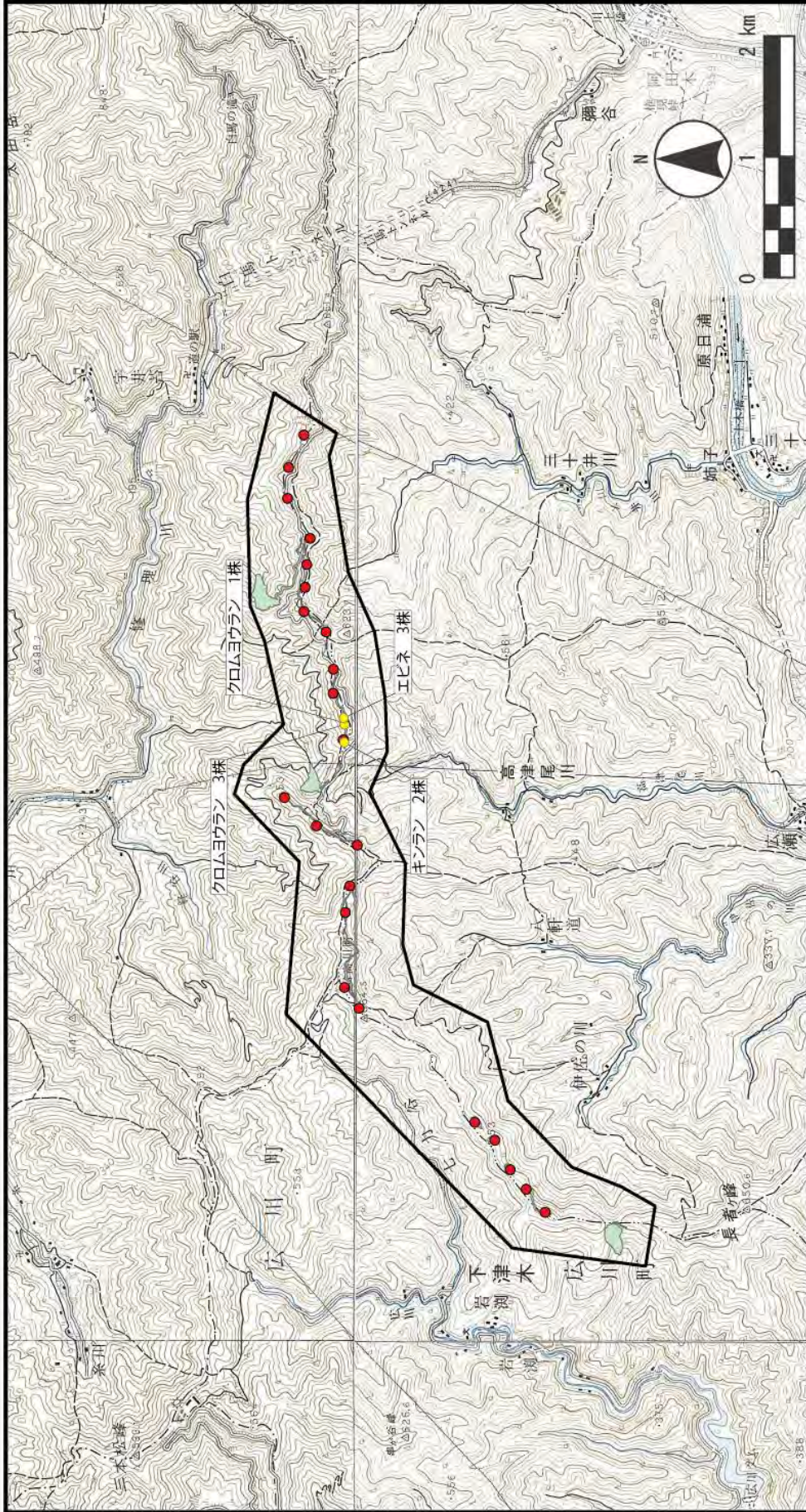
2 移植対象株の確認及び移植先の選定

移植を実施するにあたり、事前に移植対象株の確認を行った。その際、移植作業が秋季以降となることから、地上部が枯死して無くなるため、キンランとクロムヨウランについては、対象株を囲うように四隅にマーキングを行った。移植対象となる重要な植物種はキンラン2株、クロムヨウラン4株及びエビネ3株であった。クロムヨウランについては、マーキング作業の際に改変区域で確認したことから、併せて移植対象とした。マーキングの状況は表2のとおりである。

移植先の選定は、キンラン、クロムヨウランは菌根菌と共生し生育しているため、共生樹種と生育環境を踏まえ選定を行った。

表2 移植対象株のマーキング状況

作業名	状況写真
移植株のマーキング	 <p>キンラン</p>
	 <p>クロムヨウラン (1株)</p>
	 <p>クロムヨウラン (3株)</p>
	 <p>エビネ</p>
撮影日：平成29年9月13日	



凡例

-  対象事業実施区域
-  移植対象株の位置
-  風力発電施設
-  改変区域

種位置
先位置図

3 実施方法

保全の為の移植対象となる植物の重要な種は、キンラン 2 株、クロムヨウラン 4 株及びエビネ 3 株であり、それらを改変区域外へ移植した。



移植の実施方法は表 3 のとおりである。

表 3 移植の実施方法

作業名	様子の写真と解説
<p>移植</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 個体移植（キンラン、エビネ及びクロムヨウラン共通）土ごと個体の根株を掘り取って移植する方法。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スコップで根を掘り上げ →</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>移植先に掘った穴へ移植</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>移植地の穴掘り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>植え付け</p> </div> </div> <p>撮影日：平成 29 年 11 月 28 日</p> <p>※運搬にはバケツ等を用い、根回りの土と共に運搬する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実施時期 11 月（植物が地上部の活動を休止している晩秋～早春が適期であるため。）

また、移植後は、位置等を記録し、モニタリングをするためマーキングを行った。移植後の状況は表4のとおりである。

表4 移植後の状況

 <p>キンラン移植状況</p>	 <p>キンラン移植地環境</p>
 <p>クロムヨウラン移植状況</p>	 <p>クロムヨウラン移植地環境</p>
 <p>エビネ移植状況</p>	 <p>エビネ移植地環境</p>

撮影日：平成29年11月28日